

釜石花巻道路「遠野住田～遠野」中心杭設置式

■概要

本事業は、東日本大震災で被災した沿岸地域の早期復興支援を図るリーディングプロジェクトである「復興道路」に位置づけられると同時に、これまで未事業区間であった「遠野住田IC～遠野IC間」約11キロについて新たに事業着手したものです。

これから本格的に測量などの作業開始となることから、その第一歩として計画路線上で中心杭設置式を開催しました。式では中心杭設置の他、東日本大震災から10ヶ月目の発災時刻の黙祷、命の道缶バッチの進呈、道路の早期完成と沿岸被災地の復興を祈念して鳩の放鳥を行いました。



▲設置された釜石花巻道路「遠野住田～遠野」中心杭

■次第

- ①開会
- ②挨拶
- ③黙祷
- ④中心杭設置
- ⑤命の道缶バッチ進呈
- ⑥鳩の放鳥
- ⑦閉式

■平成24年1月11日(水) 遠野市内で開催

- ①開催日時：平成24年1月11日14:30～15:00
- ②開催場所：岩手県遠野市綾織町新里30地割56 地内
- ③主催：遠野市、岩手河川国道事務所



▲岩手河川国道事務所長の挨拶



▲遠野市長による中心杭打設



▲遠野小学校児童による鳩の放鳥



▲遠野小学校児童による『命の道缶バッチ』進呈



◇命の道缶バッチとは

・東日本大震災で釜石市鶴住居小学校児童と釜石東中学校生徒600人がその1週間前に供用したばかりの釜石山田道路に逃げて命が助かったことを受け、釜石市から「三陸の奇跡、つなげよう! 命の道」と入った缶バッチ運動が始まりました。復興道路は住民生活を支える命の道であることから、現在では東北全体の復興道路に缶バッチ運動が広がっています。

制作：大船渡・釜石・大槌・山田間三陸縦貫自動車道整備促進協議会